

2010 年度生活経済学会総会資料

(第 1 号議案)

I 2009 年度事業報告及び同収支決算報告

次のとおり、2009 年度事業報告及び同決算報告がなされ、承認された。

第 1 2009 年度事業報告

(2009 年 4 月 1 日から 2010 年 3 月 31 日まで)

1 会員の現状

2010 年 3 月 31 日現在の会員数は次のとおり

会 員	2009 年度末	2008 年度末	増 減
個人会員 A	594	597	△3
個人会員 B	198	209	△11
個人会員 C	15	15	0
名誉会員	13	14	△1
賛助会員	7 (25 口)	8 (28 口)	△1(△3 口)
計	827	843	△16

2 研究大会の開催

第 25 回 (2009 年度) 研究大会を次のとおり開催した。

開催日時 2009 年 6 月 13 日 (土) ・ 6 月 14 日 (日)

会 場 岡山商科大学

内 容 自由論題：20 本発表及び討論

共通論題シンポジウム

テーマ 「地域経済と生活者の安心」

基調講演	明海大学	朝日 讓治 氏
パネリスト	関西大学	一圓 光彌 氏
パネリスト	松山大学	宍戸 邦彦 氏
パネリスト	岐阜大学	大藪 千穂 氏
パネリスト	岡山商科大学	多田 憲一郎 氏
司 会	大阪商業大学	坂口 正之 氏
	県立広島大学	西脇 廣治 氏

3 2009 年度部会開催状況について

2009 年度の各部会は次のとおり開催した。

○ 北海道部会《 部会長 伊藤 一 氏 (小樽商科大学) 》

- 1 開催日 2009 年 10 月 3 日 (土)
- 2 開催場所 小樽商科大学札幌サテライト教室

- 3 開催概要 研究報告Ⅰ
 座長 佐藤 芳彰 氏 (北海学園大学)
 テーマ 「特定保健用食品市場の特質と参入戦略」
 報告者 角田 美知江 氏 (北海学園大学)
- 研究報告Ⅱ
 座長 秋森 弘 氏 (北星学園大学)
 テーマ 「商品先物市場における実証分析 (仮題)」
 報告者 皆木 健男 氏 (北星学園大学)
- 特別講演 「わが国国債市場の推移と展望」
 報告者 釜江 廣志 氏 (東京経済大学)

○ 東北部会 《 部会長 江尻 行男 氏 (東北福祉大学) 》

- 1 開催日 2009年11月14日 (土)
- 2 開催場所 ホテルユニバース仙台 シェルブール会議室
- 3 開催概要 総合司会 三橋 勇 氏 (宮城大学)
 基調講演 「フィディアホールディングスの取り組み」
 報告者 フィディアホールディングス株式会社
 社長 里村 正治 氏

自由論題報告

- 座長 油川 洋 氏 (尚絅学院大学)
- 研究報告1
 テーマ 「銀行の資金調達と資産選択」
 報告者 相澤 朋子 氏 (東北文化学園大学)
 コメンテーター 鴨池 治 氏 (東北福祉大学)
- 研究報告2
 テーマ 「介護保険制度の利用者負担率の変化が経済に及ぼす影響」
 報告者 伊藤 健宏 氏 (石巻専修大学)
 コメンテーター 秋田 次郎 氏 (東北大学)
- 研究報告3
 テーマ 「ベトナム農業部門における栄養摂取と生産性」
 報告者 江波 亮 氏 (山形県立産業技術短大庄内校)
 コメンテーター 江尻 行男 氏 (東北福祉大学)

○ 関東部会 《 部会長 藤野 次雄 氏 (横浜市立大学) 》

- 1 開催日 2009年10月25日 (日)
- 2 開催場所 成城大学 7号館
- 3 開催概要 総合司会 藤野 次雄 氏 (横浜市立大学)
 実行委員長 村本 孜 氏 (成城大学)

自由論題研究報告 (午前の部)

- 座長 釜江 廣志 氏 (東京経済大学)
 天野 晴子 氏 (日本女子大学)

研究報告Ⅰ

テーマ 「メキシコの中小企業政策
ーハリスコ州経済庁の事例を中心にー」

報告者 柿原 智弘 氏 (成城大学)

討論者 宮村 健一郎 氏 (東洋大学)

研究報告Ⅱ

テーマ 「子供のネット利用における安心・安全施策に関する研究ーフィルタリング導入意向についての実証分析ー」

報告者 大塚 時雄 氏 (秀明大学)

田中 絵麻 氏 ((財) マルチメディア振興センター)

三友 仁志 氏 (早稲田大学)

討論者 福島 章雄 氏 (成城大学)

研究報告Ⅲ

テーマ 「還付可能な税額控除制度と労働供給」

報告者 白石 憲一 氏 (群馬社会福祉大学)

討論者 駒村 康平 氏 (慶應義塾大学)

自由論題研究報告 (午後の部)

座長 金子 邦彦 氏 (明治大学)

米山 高生 氏 (一橋大学)

研究報告Ⅳ

テーマ 「政令指定都市福祉行政と地域住民の協働における課題
ー認知症地域支援体制構築モデル事業を事例としてー」

報告者 石川 隆代 氏 (日本女子大学)

討論者 長井 毅 氏 (高千穂大学)

研究報告Ⅴ

テーマ 「民法特例法人 (旧公益法人) の産業分野別活動実態」

報告者 金子 優子 氏 (山形大学)

討論者 朝日 讓治 氏 (明海大学)

シンポジウム

テーマ 「消費者庁発足と生活経済」

座長 上村 協子 氏 (東京家政学院大学)

藤野 次雄 氏 (横浜市立大学)

報告者 石戸谷 豊 氏 (港共同法律事務所弁護士)

岡田 ヒロミ 氏 (国民生活審議会委員)

上原 章 氏 ((独) 国民生活センター紛争解決委員会事務局)

討論者 細川 幸一 氏 (日本女子大学)

松崎 陽子 氏 (長岡大学)

○ 中部部会 《 部会長 大藪 千穂 氏 (岐阜大学) 》

第1回研究大会

- 1 開催日 2009年10月24日 (土)
- 2 開催場所 岐阜大学 教育学部B107 教室
- 3 開催概要 第1セッション

座長: 水田 健一 氏 (名古屋学院大学)

第1 報告

テーマ 「消費が先か生産が先か—90年代の産業構造変化の影響」
報告者 近藤 智 氏 (三菱UFJ リサーチ&コンサルティング)
討論者 宮崎 智視 氏 (名古屋学院大学)

第2 報告

テーマ 「世代重複モデルのもとでの物品税を用いた財源調達による公共財供給の効率性」
報告者 中林 正成 氏 (名古屋大学大学院)
討論者 森田 雄一 氏 (名古屋市立大学)

第3 報告

テーマ 「一般用医薬品販売の規制緩和に関する選好 の決定要因」
報告者 澤野 孝一郎 氏 (名古屋市立大学)
討論者 赤木 博文 氏 (名城大学)

第2 セッション

座長: 森 徹 氏 (名古屋市立大学)

第4 報告

テーマ 「所得格差と養育費補助に関する経済分析」
報告者 酒井 愛 氏 (名古屋大学大学院)
討論者 手嶋 正章 氏 (名城大学)

第5 報告

テーマ 「バイオエタノールの導入と食料価格の関係に関する一考察」
報告者 並河 良一 氏 (中京大学)
討論者 鎌田 繁則 氏 (名城大学)

第2回研究大会

- 1 開催日 2010年3月20日 (土)
- 2 開催場所 名城大学名駅サテライト会議室(名古屋駅前SIAビル)
- 3 開催概要 講演 名古屋市子ども青少年局長 石井久士氏
「名古屋市の子ども・子育て施策について」
質疑応答・討論

○ 関西部会《 部会長 村田 治 氏（関西学院大学）》

第1回研究大会

- 1 開催日 2009年5月9日（土）
- 2 開催場所 大阪市立大学 文化交流センター
- 3 開催概要 自由論題研究報告

座長 坂口 正之 氏（大阪商業大学）

第1報告

論 題 「医療保障制度の財源調達、配分方式の違いによる影響」

報告者 田畑 雄紀 氏（関西大学大学院生）

コメント 檜原 朗 氏（神戸学院大学）

第2報告

論 題 「企業の設備投資と景気動向の関係」

報告者 藤岡 由子 氏（関西学院大学大学院研究員）

コメント 久保田 哲夫 氏（関西学院大学）

第3報告

論 題 「ゆうちょ銀行は地域金融市場を混乱させるのか」

報告者 滝川 好夫 氏（神戸大学）

コメント 寺地 孝之 氏（関西学院大学）

第2回研究大会

- 1 開催日 2009年11月28日（土）
- 2 開催場所 関西学院大学上ヶ原キャンパスG号館 106号教室
- 3 開催概要 全体テーマ 「結婚と出産の生活経済学」

第1報告

論 題 「晩婚化・少子化の理論的分析」

報告者 坂爪 聡子 氏（京都女子大学）

第2報告

論 題 「夫の出産・育児サポートと出生」

報告者 水落 正明 氏（三重大学）

第3報告

論 題 「結婚・出産と社会保障制度」

報告者 寺本 尚美 氏（梅花女子大学）

○ 中四国部会《 部会長 西脇 廣治 氏（県立広島大学）》

- 1 開催日 2009年11月28日（土）
- 2 開催場所 松山大学 東本館 7階 会議室1
- 3 開催概要 特別講演 「金融機関とCSR」

内田 滋 氏（長崎大学）

第1報告

テーマ 「郵便貯金ユニバーサルサービスのサステナビリティ
—民営化前10年間の各種推計に基づいて—」

報告者 西垣 鳴人 氏（岡山大学）

第2報告

テーマ 「民間非営利組織の会計システムとサテライト勘定に関する研究」

報告者 五百竹 宏明 氏（県立広島大学）

第3報告

テーマ 「道州制の諸問題 ―財政問題を中心に―」

報告者 小淵 港 氏（愛媛大学）

○ 九州部会《 部会長 中宮 光隆 氏（熊本県立大学） 》

- 1 開催日 2009年11月14日（土）
- 2 開催場所 長崎大学教育学部3階会議室

3 開催概要 第1報告

テーマ 「地域金融市場の競争環境と市場規律」

報告者 永田 邦和 氏（鹿児島大学）

第2報告

テーマ 「ブロードバンド時代の消費者リテラシ
ーベストエフォート契約とネット中立性問題ー」

報告者 実積 寿也 氏（九州大学）

第3報告

テーマ 「家計金融の歴史的位相 ―消費者金融会社の盛衰―」

報告者 岡本 恵也 氏（熊本学園大学）

4 『生活経済学研究』の発行

『生活経済学研究』第30巻及び第31巻を発刊した。

5 総会・理事会・担当理事会の開催

(1) 総会

次のとおり開催され、各議事事項が決議・承認された

開催月日 2009年6月13日

開催場所 岡山商科大学

議事事項

- ① 2008年度事業報告
- ② 2008年度収支決算報告
- ③ 会計監査報告
- ④ 生活経済学会会則等の改正
- ⑤ 2009年度事業計画
- ⑥ 2009年度収支予算案
- ⑦ 生活経済学会第13期役員を選出
- ⑧ その他

(2) 理事会

第 75 回理事会

開催月日 2009 年 6 月 13 日

開催場所 岡山商科大学

議事事項

- ① 生活経済学会会則の改正について
- ② 「生活経済学会交通費等支給基準」の改正について
- ③ 2008 年度事業報告及び同収支決算について
- ④ 2009 年度事業計画及び同収支予算案について
- ⑤ その他

(3) 担当理事会

第 29 回担当理事会

開催月日 2009 年 6 月 13 日

開催場所 岡山商科大学

議事事項

- ① 2008 年度事業報告及び同収支決算について
- ② 2009 年度事業計画及び同収支予算案について
- ③ 生活経済学会の全国研究大会年 2 回開催について
- ④ 新入会員・会員種別変更の承認について
- ⑤ 総会の役割分担について
- ⑥ その他

第 30 回担当理事会

開催月日 2009 年 7 月 25 日

開催場所 (財) ゆうちょ財団会議室

議事事項

- ① 担当理事会、理事会の議事録作成について
- ② 編集委員会委員の交代について
- ③ 学会賞選考委員会委員関連について
- ④ 理事、監事、各種委員会委員長及び委員の確認。任期の確認について
- ⑤ 新入会員の承認について
- ⑥ 経費見直しについて
- ⑦ 学会収入確保について
- ⑧ 部会の活性化について
- ⑨ 会員への情報伝達について
- ⑩ 訃報等の扱いについて
- ⑪ 業務の見直しについて
- ⑫ 学会史編纂上の問題について
- ⑬ 次回研究大会コミッティからの提案について
- ⑭ 「会員名簿」の改訂・周知方法について
- ⑮ その他

第 31 回担当理事会

開催月日 2009年9月10日～9月25日

開催場所 メール持ち回り会議

議事事項

- ① 新入会員、会員種別変更の承認について
- ② 編集委員会委員の選任について

臨時担当理事会

開催月日 2009年11月9日～11月20日

開催場所 メール持ち回り会議

議事事項

- ① 新入会員、会員種別変更の承認について
- ② 学会史編纂上の問題について

第 32 回担当理事会

開催月日 2010年3月21日

開催場所 一橋大学商学研究科産学連携センター

議事事項

- ① 会則の改訂
- ② 内規等の改訂
- ③ 各種委員の交代
- ④ 2009年度事業報告及び同収支決算見込みについて
- ⑤ 2010年度事業計画及び予算について
- ⑥ 2010年度全国大会準備状況
- ⑦ 2011年における大会開催校について
- ⑧ 学会誌投稿の扱いについて
- ⑨ 名誉会員の推薦について
- ⑩ 第14期理事選挙について
- ⑪ 学会賞等の選考結果
- ⑫ 逝去者の取り扱いについて 申し合わせ
- ⑬ 担当理事の交代
- ⑭ 「日本経済学会連合会からの補助申請」について 申し合わせ
- ⑮ HP掲載情報の選択基準と内容について
- ⑯ 新入会員の承認
- ⑰ 会員種別変更の承認
- ⑱ その他

第2 2009年度収支決算報告

(2009年4月1日から2010年3月31日まで)

2009年度収支決算書

単位：円

収入の部			
科 目	2009年度決算額 (A)	2009年度予算額 (B)	増減額 (A-B)
《基本財産運用収入》	275,433	200,000	75,433
基本財産利息収入	275,433	200,000	75,433
《会 費 収 入》	7,890,000	8,690,000	▲ 800,000
個人会員A会費収入	4,605,000	5,100,000	▲ 495,000
個人会員B会費収入	737,000	1,000,000	▲ 263,000
個人会員C会費収入	48,000	90,000	▲ 42,000
賛助会員会費	2,500,000	2,500,000	0
《その他収入》	413,355	590,000	▲ 176,645
懇親会収入	192,000	335,000	▲ 143,000
投 稿 料	125,000	125,000	0
掲 載 料	40,000	60,000	▲ 20,000
補 助 金	0	0	0
広告掲載料	40,000	40,000	0
受取利息	16,355	30,000	▲ 13,645
雑収入	0	0	0
2009年度収入計	8,578,788	9,480,000	▲ 901,212
前 期 繰 越	12,607,058	12,607,058	0
合 計	21,185,846	22,087,058	▲ 901,212
支出の部			
科 目	2009年度決算額 (A)	2009年度予算額 (B)	増減額 (A-B)
《管 理 費》	4,030,315	4,475,000	▲ 444,685
事務委託費	2,898,000	2,900,000	▲ 2,000
会 議 費	47,896	75,000	▲ 27,104
会費会合費	35,000	35,000	0
交 通 費	764,620	720,000	44,620
通 信 費	144,990	150,000	▲ 5,010
印刷・製本費	0	200,000	▲ 200,000
諸 謝 金	0	50,000	▲ 50,000
租 税 公 課	58,339	65,000	▲ 6,661
消 耗 品 費	14,690	80,000	▲ 65,310
雑 費	66,780	200,000	▲ 133,220
《事 業 費》	4,601,053	5,005,000	▲ 403,947
大会・総会開催費	416,031	700,000	▲ 283,969
懇親会支出	192,500	335,000	▲ 142,500
部会開催費	1,028,065	1,457,000	▲ 428,935
学会誌発行費	1,839,409	1,400,000	439,409
学 会 賞 費	78,015	68,000	10,015
学会史関係費	851,033	845,000	6,033
ホームページ関係費	196,000	200,000	▲ 4,000
雑 費	0	0	0
2009年度支出計	8,631,368	9,480,000	▲ 848,632
予 備 費	---	12,607,058	---
次 期 繰 越	12,554,478	---	---
合 計	21,185,846	22,087,058	▲ 901,212

貸 借 対 照 表
(2010年3月31日現在)


単位：円


資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	13,507,178	流動負債	952,700
現金	18,754	前受金	54,200
振替	316,442	預り金	7,000
通常貯金	986,574	未払金	891,500
定額貯金	1,000,000		
ニュー定期貯金	4,000,000		
定期預金	3,000,000		
普通預金	954,873		
有価証券	2,484,018	負債合計	952,700
仮払金	82,172	正味財産の部	
未収金	664,345	科 目	
		基本財産	50,000,000
その他固定資産	50,000,000	基本財産	50,000,000
投資有価証券	30,000,000	剰余金	12,554,478
定期預金	20,000,000	次期繰越	12,554,478
		正味財産合計	62,554,478
資産合計	63,507,178	負債・正味財産合計	63,507,178

会計監査報告

2009年度生活経済学会決算について、決算報告書及び関係帳簿により監査した結果、正確かつ適正であったことを認めます。

2010年4月22日

監事 金子邦彦 

監事 堀越栄子 

(第2号議案)

Ⅱ 生活経済学会会則等の改正について

次のとおり、改正案について説明がなされ、承認された。

第1 生活経済学会会則の改正

会員の入会・会員種別変更をする場合、退会のほか休会及び除名等を加えて、所要の改正を行う。

生活経済学会会則（新旧比較表）

条・項	新	旧
第5条 第1項	<p>(1) 個人会員A 本会の目的に賛同して入会した研究者 (新たに入会する又は個人会員Cから個人会員Aへ種別変更する場合には、個人会員Aの推薦を必要とする。)</p> <p>(2) 個人会員B 本会の目的に賛同して入会した大学院生及 研究生 (新たに入会する場合、個人会員Aの推薦を必要とする。)</p> <p>(4) 名誉会員 本会に功労のあった者で、担当理事会において 推薦し、理事会・総会において承認を得た者</p>	<p>(1) 個人会員A 本会の目的に賛同して入会した研究者 (新たに入会する又は種別変更する場合、個人会員Aの推薦を必要とする。)</p> <p>(2) 個人会員B 本会の目的に賛同して入会した大学院生</p> <p>(4) 名誉会員 本会に功労のあった者で、理事会において推薦し、総会において承認を得た者</p>
第6条 標題	(入会)	(入会及び退会)
第6条 第2項 第3項 (削除)	<p>本会に入会しようとする者は、入会申込書を会長に提出し、担当理事会の承認を受けるものとする。 これを承認したとき、担当理事会は理事会に、理事会は総会にそれぞれ報告する。</p> <p>2 (削除)</p> <p>3 (削除)</p>	<p>本会に入会しようとする者は、入会申込書を会長に提出し、担当理事会の承認を受けるものとする。 これを承認したとき、担当理事会は理事会に、理事会は総会にそれぞれ報告する。</p> <p>2 会員は、退会届を会長に提出することにより退会することができる。</p> <p>3 会長は、2年以上会費を滞納した者を、担当理事会の議決を得て、退会したものとみなすことができる。</p>
第7条 (追加) 標題	(退会、休会及び除名)	
第7条 (追加)	<p>本会における退会、休会及び除名は次のとおりとする。</p> <p>(1) <u>会員は、退会届を会長に提出することにより退会することができる。</u></p> <p>(2) <u>会長は、3年以上会費を滞納した者及び3年以上居所が確認できない者を、担当理事会の議決を得て、退会したものとみなすことができる。</u></p> <p>(3) <u>病気、海外研修等で1年以上学会活動に参加できない者は、休会の理由とそれを裏付ける書類写しを添えて会長に休会申込書を提出し、担当理事会の議を経て年度単位で休会することができる。</u></p> <p>(4) <u>会員が生活経済学会の名誉を著しく損なう行為を行った場合、会長は担当理事会の議を経て当該会員を除名することができる。この処分に関し、担当理事会は理事会に、理事会は総会にそれぞれ報告する。</u></p>	
第8条～ 第9条	第7条を第8条とし、以下、第8条を第9条まで繰り下げる。	

条・項	新	旧
第9条 第5項	(1) 総務担当理事は、原則として、 <u>第11条</u> に規定する編集委員会並びにその他の委員会を統括する。	(1) 総務担当理事は、原則として、第10条に規定する研究企画委員会及び編集委員会並びにその他の委員会を統括する。
第10条～ 第11条	第9条を第10条とし、以下、第10条を第11条まで繰り下げる。	
第11条 第1項	本会の会議は、総会、理事会、担当理事会、編集委員会、 <u>ホームページ委員会及び学会賞等選考委員会とする。</u>	本会の会議は、総会、理事会、担当理事会、研究企画委員会及び編集委員会とする。
第11条 第5項	5 <u>編集委員会、ホームページ委員会及び学会賞等選考委員会の構成は別に定める。</u>	5 研究企画委員会及び編集委員会の構成は別に定める。
第12条～ 第15条	第11条を第12条とし、以下、第14条を第15条まで繰り下げる。	
第15条 標題	(編集委員会、ホームページ委員会及び <u>学会賞等選考委員会</u>)	(研究企画委員会、編集委員会及びホームページ委員会)
第15条 第1項	本会会員の研究活動の促進を図るため、本会に次の委員会を設置する。 <u>(1) 編集委員会</u> <u>(2) ホームページ委員会</u> <u>(3) 学会賞等選考委員会</u>	本会会員の研究活動の促進を図るため、本会に次の委員会を設置する。 (1) 研究企画委員会 (2) 編集委員会 (3) ホームページ委員会
附則	1 この会則は、 <u>2010年度</u> の総会において承認された日をもって施行する。	1 この会則は、 <u>2009年度</u> の総会において承認された日をもって施行する。

第2 生活経済学会名誉会員推薦内規

名誉会長を推薦する場合、各部長が推薦理由を付して担当理事会に推薦するように所要の改正を行う。

生活経済学会名誉会員推薦内規（新旧比較表）

条・項	新	旧
第2条	<u>名誉会員は、各部長の部長が推薦理由を付して担当理事会に推薦し、担当理事会及び理事会の議決を経て総会に諮るものとする。</u>	担当理事会において名誉会員を推薦する場合は、担当理事会はその推薦理由を付して理事会に報告し、理事会の議決を経て総会に諮るものとする。

第3 生活経済学会理事及び監事の選任規程

会則改正に伴い、所要の改正を行う。

生活経済学会理事及び監事の選任規程（新旧比較表）

条・項	新	旧
第1条	この規程は、本会会則第10条に基づき理事及び監事の選任に関する手続きを定めることを目的とする。	この規程は、本会会則第9条に基づき理事及び監事の選任に関する手続きを定めることを目的とする。
第19条	(4) 第1号及び第2号の理事及び監事の任期は、前任者の残任期間とする。この場合において、当該任期については、本会会則第9条第7項に規定する連続任期に算入しないものとする。	(4) 第1号及び第2号の理事及び監事の任期は、前任者の残任期間とする。この場合において、当該任期については、本会会則第8条第6項に規定する連続任期に算入しないものとする。

附 則	1 この規程は、 <u>2010</u> 年度の総会において承認された日をもって施行する。	1 この規程は、2008年度の総会において承認された日をもって施行する。
-----	---	--------------------------------------

第4 生活経済学会会長及び副会長の選任規程

会則改正に伴い、所要の改正を行う。

生活経済学会会長及び副会長の選任規程（新旧比較表）

条・項	新	旧
第1条	この規程は、本会会則第10条に基づき会長及び副会長の選任に関する手続を定めることを目的とする。	この規程は、本会会則第9条に基づき会長及び副会長の選任に関する手続を定めることを目的とする。
附 則	1 この規程は、 <u>2010</u> 年度の総会において承認された日をもって施行する。	1 この規程は、2007年度の総会において承認された日をもって施行する。

第5 生活経済学会の総務担当及び財務担当副会長の指名並びに担当理事の選任規程

会則改正に伴い、所要の改正を行う。

生活経済学会の総務担当及び財務担当副会長の指名並びに担当理事の選任規程（新旧比較表）

条・項	新	旧
第1条	この規程は、本会会則第10条に基づき総務担当理事及び財務担当理事を総括する副会長（以下、それぞれ「総務担当副会長」、「財務担当副会長」という。）の指名並びに担当理事の選任に関する手続を定めることを目的とする。	この規程は、本会会則第9条に基づき総務担当理事及び財務担当理事を総括する副会長（以下、それぞれ「総務担当副会長」、「財務担当副会長」という。）の指名並びに担当理事の選任に関する手続を定めることを目的とする。

第6 生活経済学会編集委員会設置規程

会則改正に伴い、所要の改正を行う。

生活経済学会編集委員会設置規程（新旧比較表）

条・項	新	旧
第1条	本会会則第15条に定める編集委員会（以下「委員会」という）の設置は、本規程による。	本会会則第14条に定める編集委員会（以下「委員会」という）の設置は、本規程による。
附則	1 この規程は、 <u>2010</u> 年度の総会において承認された日をもって施行する。	1 この規程は、2008年度の総会において承認された日をもって施行する。

第7 生活経済学会ホームページ委員会設置規程

会則改正に伴い、所要の改正を行う。

生活経済学会ホームページ委員会設置規程（新旧比較表）

条・項	新	旧
第1条	本会会則第15条に定めるホームページ委員会（以下「委員会」という）の設置は、本規程による。	本会会則第14条に定めるホームページ委員会（以下「委員会」という）の設置は、本規程による。
附則	1 この規程は、 <u>2010</u> 年度の総会において承認された日をもって施行する。	1 この規程は、2008年度の総会において承認された日をもって施行する。

（第3号議案）

Ⅲ 2010年度事業計画及び同収支予算案

次のとおり、2010年度事業計画及び同収支予算案の説明がなされ、承認された。

第1 2010年度事業計画

（2010年4月1日～2011年3月31日）

1 研究大会の開催

2010年度研究大会を次のとおり開催する。

開催日	2010年6月19日（土）～20日（日）
会場	東北福祉大学ステーションキャンパス館
特別シンポジウム	「郵政民営化のその後」
共通論題	「社会保障の将来選択 －制度の長期展望と地域の視点から－」
自由論題研究報告	自由論題分科会 テーマ別分科会

2 部会の開催

- ・ 北海道部会 10月9日(土) 小樽商科大学 札幌サテライト
- ・ 東北部会 12月4日(土) スマイルホテル仙台国分町
(※東北部会開催日・場所を7月21日に変更)
- ・ 関東部会 11月20日(土) 横浜市立大学
- ・ 中部部会 11月6日(土) 椋山女学園大学
- ・ 関西部会 第1回 4月17日(土) 大阪市立大学梅田キャンパス
第2回 12月11日(土) 大阪商業大学

- ・ 中四国部会 11月27日(土) 山口大学(予定)
- ・ 九州部会 11月20日(土) 琉球大学

3 『生活経済学研究』の発行

『生活経済学研究』第32巻及び第33巻を発刊する。

4 『生活経済学会史』発行の延期

2009年度の総会で2010年3月末日(予定)を2010年3月21日の第32回担当理事会で5月末日に発行と変更し、第26回研究大会の際に会員に配布されることになっていた。

しかしながら、執筆者の意向、あるいはより正確さを維持するためにもう少し時間がかかることになり、出版を再度延期することになった。

第2 2010年度収支予算案

(2010年4月1日～2011年3月31日)

2010年度収支予算案

単位：円

収入の部			
科目	2010年度予算	(参考) 2009年度予算	(参考) 2009年度決算
《基本財産等運用収入》	200,000	200,000	275,433
基本財産等利息収入	200,000	200,000	275,433
《会費収入》	7,650,000	8,690,000	7,890,000
個人会員A会費収入	4,700,000	5,100,000	4,605,000
個人会員B会費収入	900,000	1,000,000	737,000
個人会員C会費収入	50,000	90,000	48,000
賛助会員会費	2,000,000	2,500,000	2,500,000
《その他収入》	515,000	590,000	413,355
懇親会収入	270,000	335,000	192,000
投稿料	125,000	125,000	125,000
掲載料	60,000	60,000	40,000
補助金	0	0	0
広告掲載料	40,000	40,000	40,000
受取利息	20,000	30,000	16,355
雑収入	0	0	0
収入合計	8,365,000	9,480,000	8,578,788
前期繰越	12,554,478	12,607,058	12,607,058
合計	20,919,478	22,087,058	21,185,846
支出の部			
科目	2010年度予算	(参考) 2009年度予算	(参考) 2009年度決算
《管理費》	4,762,000	4,475,000	4,030,315
事務委託費	2,900,000	2,900,000	2,898,000
会議費	50,000	75,000	47,896
会費会合費	35,000	35,000	35,000
交通費	1,227,000	720,000	764,620
通信費	150,000	150,000	144,990
印刷製本費	200,000	200,000	0
諸謝金	0	50,000	0
租税公課	60,000	65,000	58,339
消耗品費	50,000	80,000	14,690
雑費	90,000	200,000	66,780
《事業費》	3,603,000	5,005,000	4,601,053
大会・総会開催費	700,000	700,000	416,031
懇親会支出	235,000	335,000	192,500
部会開催費	1,050,000	1,457,000	1,028,065
学会誌発行費	1,210,000	1,400,000	1,839,409
学会賞費	68,000	68,000	78,015
学会史関係費	140,000	845,000	851,033
ホームページ関係費	200,000	200,000	196,000
雑費	0	0	0
支出合計	8,365,000	9,480,000	8,631,368
予備費	12,554,478	12,607,058	-----
次期繰越		-----	12,554,478
合計	20,919,478	22,087,058	21,185,846

(第4号議案)

IV その他

V 報告事項

1 生活経済学会各種委員会委員の委嘱

編集委員会

(敬称略、五十音順)

任 期	氏 名	所 属	部 会	専 攻 分 野
09・10年度	浅子 和美	一橋大学	関東	経済学
10・11	岩崎 利彦	皇學館大学	関西	社会保障論・カナダ医療制度
10・11	大藪 千穂	岐阜大学	中部	家庭経済学
10・11	重川 純子	埼玉大学	関東	家庭経済学・生活経営学
09・10	須齋 正幸	長崎大学	九州	計量経済学
09・10	晝間 文彦	早稲田大学	関東	金融論
09・10	森 徹	名古屋市立大学	中部	財政学
09・10	矢野 順治	広島大学	中四国	マクロ金融
09・10 ※	米山 高生	一橋大学	関東	保険・リスクマネジメント

※： 委員長

ホームページ委員会

(敬称略、五十音順)

任 期	氏 名	所 属	部 会	専 攻 分 野
10・11年度	赤木 博文	名城大学	中部	財政学
10・11	畔上 秀人	関東学園大学	関東	応用経済学
09・10 ※	田中 勝次	岡山商科大学	中・四国	国際金融論
10・11	寺本 尚美	梅花女子大学	関西	社会保障・社会福祉
10・11	永田 邦和	鹿児島大学	九州	金融論
09・10	藤原 敦志	香川大学	中・四国	金融論
09・10	水谷 浩	東北福祉大学	東北	商品学・マーケティング
09・10	皆木 健男	北星学園大学	北海道	金融論

※： 委員長

学会賞等選考委員会

(敬称略、五十音順)

任 期	氏 名	所 属	部 会	専 攻 分 野
09・10年度 ※	一圓 光彌	関西大学	関西	社会保障論
09・10	釜江 廣志	東京経済大学	関東	証券論・金融論
10・11	林 宏昭	関西大学	関西	財政学
09・10	藤野 次雄	横浜市立大学	関東	経済学
10・11	村田 治	関西学院大学	関西	理論経済学

※： 委員長

選挙管理委員会

(敬称略、五十音順)

任 期	氏 名	所 属	部 会	専 攻 分 野
10・11年度	赤塚 朋子	宇都宮大学	関東	生活経営学
10・11	大藪 千穂	岐阜大学	中部	家庭経済学
10・11 ※	鴨池 治	東北福祉大学	東北	金融論
10・11	菅原 晴之	神奈川大学	関東	経済学
10・11	福島 章雄	成城大学	関東	金融論

※： 委員長

2 生活経済学会新入会員の承認報告

第30回担当理事会（2009年7月25日）から第33回担当理事会（2010年6月18日）までにおいて承認された新入会員

会員種別	会員数
個人会員A	17名
個人会員B	11
個人会員C	1

3 生活経済学会会員種別変更の承認報告

第30回担当理事会（2009年7月25日）から第33回担当理事会（2010年6月18日）までにおいて会員種別変更が承認された会員

会員種別変更	会員数
個人会員BからAに変更	9名
個人会員BからCに変更	2

4 2009年度生活経済学会賞等の選考結果

(1) 生活経済学会賞等選考委員会（敬称略）

生活経済学会学会賞・推薦図書賞・奨励賞の各賞について、2009年12月8日から2010年2月3日まで、メールによる選考委員会会議を開催し、次のとおり選考した。

(2) 審査結果

① 生活経済学会学会賞

該当者なし

② 生活経済学会推薦図書賞

坂本信雄氏（京都学園大学経営学部）

『ローカル・ガバナンスの実証分析』

（八千代出版、2009年）

家森信善氏（名古屋大学大学院経済学研究科）

『大波乱時代の個人投資—むつかしく考えない株式投資—』

（千倉書房、2009年）及び金融に関する啓発・教育の一連の著作

③ 生活経済学会奨励賞

内田 聡氏（茨城大学人文学部）

『アメリカ金融システムの再構築—ウォールストリートとメインストリート』

（昭和堂、2009年）

近藤万峰氏 (愛知学院大学商学部)

『ポストバブル期の金融機関の行動—新しい時代のリテール金融の確立に向けて—』
(成文堂、2009年)

丸山 桂氏 (成蹊大学経済学部)

『就業形態の多様化と社会保険の適用状況に関する国際比較』
(全労済協会、2008年)

○ 生活経済学会賞等の表彰式

○ 次期大会開催校あいさつ

2011年6月 名城大学 伊藤 志のぶ 氏